

## 中国語の方向補語“过”“过来”“过去”の意味について ～日本人の中国語学習者を対象とする中国語学習という視点から～

### The meaning of the Chinese directional complement : 过, 过来, 过去 ～ from the view of Chinese Learning by Japanese Learners ～

蘇 雪蓮

Su Xuelian

#### Abstract

In this study, we examined the meaning of the direction complements: 过、过来、过去. We analyzed the difference of the meaning which each one has. And we attempted a classification based on meaning. We also focused on the differences of the expressions between Japanese and Chinese. In these analyses, we predicted some expressions will be difficult when Japanese students study the direction complements of 过、过来、过去.

#### はじめに

中国語の中には、“穿过马路（道路を横断する）”や“坐过站（乗りすぎた）”などの表現がある。“穿过”は“穿+过”という構造であり、この場合の動詞である“穿”に対応する日本語は「横断する」である。中国語の“穿过”の“过”は「ある場所を通り過ぎる」という意味を表し、動詞の後ろに来て、動詞を修飾するものである。一方、“坐过”も“坐+过”という構造となるが、この場合の動詞である“坐”は日本語の「座る」という意味である。“穿过”の“过”と違って“坐过”の“过”は「限度を超えている」という意味を表すものである。中国語において、“動詞+过”の“过”は方向補語である。方向補語である“过”は修飾している動詞の種類によって、表している意味が違って来る。また“動詞+过来”や“動詞+过去”などの表現もある。中国語の方向補語である“过”、“过来”、“过去”は、それぞれ多様な意味を持っている。またそれぞれの意味に重なる部分もあれば、異なる部分もある。そのために、中国語の方向補語の“过”、“过来”、“过去”の学習は、日本人の中国語学習者にとってはとても困難である。本研究は、中国語の方向補語の“过”、“过来”、“过去”の学習に焦点を絞って検討するものである。

そのために、本研究はまず方向補語である“过”、“过来”、“过去”と、それぞれに対応している日本語表現に関する先行研究について検討する。その中で代表的なものとして、『中日辞典』における意味の説明、呂 叔湘（1992）の研究、劉 月華（1998）の研究、杉村博文（1983）

の研究が挙げられるので、それらを中心にして検討することとする。本研究では、先行研究をまとめた上、方向補語である“过”、“过来”、“过去”の意味を再吟味し、それぞれが持っている意味の異同を含めて再検討し、意味に基づく再分類を試みる。またそれぞれの表現に対して、日本語ではどんな表現となるかをも分析する。日本語表現との違いから、日本人の中国語学習者がそれぞれの表現を勉強する時、どんな困難を抱えうるかを予測する。

本研究は4章から構成されている。第1章は先行研究について検討するものである。第2章は方向補語である“过”、“过来”、“过去”の持っている意味における共通な部分を検討するものである。第3章は方向補語である“过”、“过来”、“过去”という3つの方向補語の内、2つが対応できる部分を検討するものである。第4章は全体のまとめと今後の研究課題である。

## 1. 先行研究

本稿では、主として以下の4つの先行研究について検討する。方向補語の“过”、“过来”、“过去”の意味についての研究を分析するとき、まず方向補語である“过”を検討する必要がある。なぜなら、方向補語である“过”なしではこの3つの方向補語を検討できないからである。そのあと、“过来”、“过去”の意味について検討する。本研究は方向補語である“过”、“过来”、“过去”を検討するものであるので、“動詞+得+过”、“動詞+不+过”という可能補語の構造は本研究の検討対象としない。

### 1.1 『中日辞典』における方向補語の“过”、“过来”、“过去”意味について

本節では、まず『中日辞典』における方向補語の“过”の意味について検討する。そのあと、方向補語の“过来”、“过去”と方向補語の“过”の意味が対応していない部分を検討する。

#### 1.1.1 『中日辞典』における方向補語の“过”の意味について

『中日辞典』によると、方向補語の“过”には以下の4つの意味があるという。

- ①ある場所を通り過ぎる、または一方から一方へ移ることを表す。
- ②向きを変えることを表す。
- ③ある適当な限度を越えることを表す。
- ④相手よりも勝ることを表す。多く〔得〕〔不〕を伴い可能または不可能を表す。

#### 1.1.2 『中日辞典』における方向補語の“过来”、“过去”の意味について

『中日辞典』によると、方向補語の“过来”と方向補語の“过”の意味が対応していないのは以下の場合であるという。

- ① 本来の正常な状態を取り戻すことを表す。

『中日辞典』によると、方向補語の“过去”と方向補語の“过”の意味が対応していないのは以下の場合であるという。

- ①本来の正常な状態を失うことを表す。
- ②動作の完成を表す。

## 1.2 呂 叔湘の研究（1992）

本節では、まず呂 叔湘の研究（1992）によってまとめられた方向補語の“过”の意味について再検討する。それから、方向補語の“过来”、“过去”と方向補語の“过”の意味が対応していない部分を検討する。

### 1.2.1 呂 叔湘の研究（1992）における方向補語の“过”の意味について

呂叔湘（1992）が「動詞+过+語句」という構文を中心にして、方向補語の“过”の後にどんな語句が付くかとの視点から“过”の意味を分類した。かれは、“过”の後に付く語句を以下の2つのパターンに分類した。

パターン1：動作の対象か、または動作の主体である。

パターン2：場所を表す名詞。

かれによると、パターン1の方向補語の“过”には、さらに以下の4つの意味があるという。

- ①人や事物が動作の結果ある場所を通過すること、ある場所から別の場所へ移ることを表す。
- ②物体が動作によって方向を変えることを表す。
- ③動作が時間その他の面で妥当な限界を超えることを表す。
- ④まさっていることを表す。

呂は、パターン2の場合、以下の2つの意味があるという。

- ①動作がある場所を通過することを表す。
- ②目的の場所を越えることを表す。

### 1.2.2 呂 叔湘の研究（1992）における方向補語の“过来”、“过去”の意味について

呂叔湘（1992）に、方向補語の“过来”が方向補語の“过”と対応していない意味は以下の1つの意味があるとみられる。

- ① 本来の正常な、あるいはより良好な状態に戻ることを表す。

呂叔湘（1992）によると、方向補語の“过去”と方向補語の“过”の意味が対応していないのは以下の2つ場合であるという。

- ①正常な状態を離れることを表す。
- ②事柄の経過・動作の完了を表す。

## 1.3 劉 月華の研究（1998）

劉（1998）は方向補語の意味には“趋向意义（方向を表す意味）”、“结果意义（結果を表す意味）”、“状态意义（状態を表す意味）”の3つがあると指摘した。彼女によると、方向補語の“过”には“趋向意义（方向を表す意味）”、“结果意义（結果を表す意味）”があるが、“状态意义（状態を表す意味）”がないという。

本節では、まず劉（1998）の研究によって分類された方向補語の“过”の意味について検討する。それから、方向補語の“过来”、“过去”と方向補語の“过”の意味が対応していない部分を検討する。

### 1.3.1 劉 月華の研究(1998)における方向補語の“过”の意味について

劉(1998)は、方向補語の“过”における“趋向意义(方向を表す意味)”は以下の2つがあると指摘した。

- ①ある場所を通過すること、立脚点に近づくこと、或いは立脚点から離れてほかの標的に近づくことを表す。
- ②人或いは物体が方向を変えることを表す。

彼女は、方向補語の“过”における“结果意义(結果を表す意味)”は以下の4つであると指摘した。

- ①(時間を)過ごすことを表す
- ②超えることを表す。
- ③まさっていることを表す。
- ④完結することを表す。

### 1.3.2 劉 月華の研究(1998)における方向補語の“过来”、“过去”の意味について

劉(1998)によると、方向補語の“过来”と方向補語の“过”の意味が対応していないのは以下の場合であるという。

- ① 本来の正常な、あるいはより良好な状態に戻ることを表す。

劉(1998)によると、方向補語の“过去”と方向補語の“过”の意味が対応していないのは以下の場合であるという。

- ①動作及び状態の完結を表す。
- ②正常な状態を失い、不正常な状態に入ることを表す。
- ③まさっていること、超えることを表す。

### 1.4 杉村博文の研究(1983)

杉村(1983)は中国語の方向補語である“下”、“下来”、“下去”に含まれている派生的な意味を分類した。かれによると、方向補語である“下”、“下来”、“下去”の派生的な意味には対応している部分もあれば、対応していない部分もあるという。本研究では方向補語である“过”、“过来”、“过去”にも同じ現象があるかを検討したい。

以上、中国語の方向補語である“过”、“过来”、“过去”についての先行研究をまとめてみた。先行研究から分かるように、方向補語である“过”、“过来”、“过去”には多くの意味があり、多くの使い方があある。それがゆえに、日本人の中国語学習者にとって、方向補語である“过”、“过来”、“过去”の学習はとても難しい。

ところで、先行研究には3つの問題点があると考えられる。1つ目の問題点は方向補語である“过”、“过来”、“过去”の意味分類についての見解が一致していないということである。2つ目の問題点は上記の先行研究はほとんど中国語という語学研究の視点から検討されたものであり、学生の中国語の学習という視点から検討されていないということである。3つ目の問題

点は方向補語である“过”、“过来”、“过去”に対応している日本語の表現については触れていないということである。本研究を日本人の中国語の学習に役立つものにしたいので、語学研究の視点よりも、日本人の中国語の学習という視点から、方向補語の“过”、“过来”、“过去”の意味を分類し、それぞれの意味に対して日本語ではそれぞれどんな表現が対応しているかを分析する。日本人の中国語学習者がそういう表現を勉強する時、どんな困難を抱えうるかを予測する。

## 2. 方向補語“过”、“过来”、“过去”の3つとも意味上対応している場合

先行研究について調べた結果、方向補語の“过”、“过来”、“过去”の意味には、3つとも対応している部分と2つだけが対応している部分があることが分かった。この章では、その3つとも対応している部分について検討すると共に、日本語の関連表現と対照しながら日本人の中国語学習者による方向補語の“过”、“过来”、“过去”の学習における問題点を探ってみる。

### 2.1 「ある場所を通り過ぎる、または一方から一方へ移る」という意味。

方向補語の“过”は基本的に、「ある場所を通り過ぎる、または一方から一方へ移る」という意味を表すものである。この意味において、方向補語の“过”、“过来”、“过去”は「ある場所を通り過ぎる」を表すという点では共通しているが、“过来”と“过去”にはそれ以外に、また話し手の方へ移動するか、話し手の方から離れるかという方向性も含まれている。たとえば、

例：老师走过他家门口。

日本語訳：先生が彼の家の前を通り過ぎた。

例：老师从那边走过来了。

日本語訳：先生が向こうから歩いてきた。

例：老师从这里走过去了。

日本語訳：先生がここを通った。

“走过他家门口”の“过”は「ある場所を通り過ぎる」という意味を表すものとなり、話し手の位置とは関わらないものである。“从那边走过来了”の“过来”は向こうからこちらまでの空間を通して、話し手の方へ移動するという意味を持つ。この場合の“过来”は「ある場所を通り過ぎる」という意味及び「話し手の方へ移動する」という方向性を両方持っている。“从这里走过去了”の“过去”は「こちらから遠くまでの空間を通して、話し手から離れる」という意味を持つ。この場合の“过去”は「ある場所を通り過ぎる」という意味及び「話し手から離れる」という方向性を両方持っている。上の例から分かるように、方向補語の“过”、“过来”、“过去”は「ある場所を通り過ぎる」を表すという点では共通しているが、“过来”と“过去”にはそれ以外に、また話し手の方へ移動するか、話し手の方から離れるかという方向性も含まれている。この意味における“过来”と“过去”は方向の面では、正反対なものとなる。その

方向性の違いは“来”と“去”の違いからなるものである。それゆえに、この場合の“过”、“过来”、“过去”の意味は、日本人の学習者にとって理解しやすいものだと考えられる。

中国語の“走过他家门口”は日本語では「彼の家の前を通り過ぎる」という表現になり、この“走过”は日本語では「通り過ぎる」という表現になる。日本語の「通り過ぎる」は「通る＋すぎる」というものとなり、すなわち「動詞＋助動詞」という形である。日本語の「通り過ぎる」は中国語の方向補語の“过”と意味的に対応しているが、しかし中国語では、この場合“过他家门口”とも“通过他家门口”とも言わない。かならず“走＋过”、すなわち「動詞＋过」という構文を取る。この“走过”の学習は、日本人の中国語学習者にとっては比較的困難だと考えられる。なぜなら、日本人の中国語学習者にとっては、日本語の「動詞＋助動詞」から中国語の「動詞＋方向補語」に変える必要がある。この場合、日本語の動詞は「通る」となり、中国語の動詞は「走」となり、「通る」と“走”の意味が対応していないので、その作業が難しいと考えられる。

中国語の“从那边走过来了”は日本語では「向こうから歩いてきた」という表現になり、この“走过来”は日本語では「歩いてくる」という表現になる。日本語の「歩いてくる」は「歩く＋てくる」というものになる。「歩く」に対応している中国語は“走”となり、連用形「てくる」に対応している中国語は方向補語の“来”となる。それゆえに、日本人の学習者は、「歩いてくる」を中国語にすると、”走过来”にするのではなく、“走来”にする可能性が高い。“走来”は間違っているとは言えないが、「向こうからこちらまでの空間を通る」という意味は持っていない。この“走过来”は日本人の学習者にとって困難だと予測できる。

中国語の“从这里走过去了”は日本語では「ここを通った」という表現になり、この“走过去”は日本語では「通る」という表現になる。この場合、中国語の“走过去”と対応している日本語は、「動詞＋助動詞」ではなく、動詞だけになる。日本人の学習者にとっては、「動詞」から「動詞＋方向補語」に変える作業が必要であり、変更作業が複雑になります。しかも、日本語の動詞は「通る」となるのに対して、中国語の動詞は“走（歩くという意味）”になる。それゆえに、この“走过去”は日本人の学習者にとっては極めてむずかしいと考えられる。

以上は「動詞＋过」の中の動詞は自動詞の場合である。また「動詞＋过」の中の動詞は他動詞の場合、例文が以下のようなものである。

例：递过茶杯。

日本語訳：湯飲みを手渡す。

例：他把茶杯递过来了。

日本語訳：かれは湯飲みを手渡してくれた。

例：把茶杯递过去。

日本語訳：湯飲みを手渡した。

“递过茶杯”の“递”は「手渡す」という意味を表すものとなり、ものの位置を変える動作を表す動詞である。“递过茶杯”の“过”は「ある場所を通り過ぎる」という意味を表すものとなり、この場合に、もっとはっきり言うと、「ある空間を通る、超える」という意味を表すものとなる。ものの位置を変える動作の動詞を修飾する“过”は、方向性としては、話し手のほうへ近づくという方向を表すこともできれば、話し手のほうから離れて、ほかのところに近づくという方向を表すこともできる。

“把茶杯递过来了”の“过来”は向こうからこちらまでの空間を通して、話し手の方へ移動するという意味を持つ。“把茶杯递过去”の“过去”は「こちらから相手までの空間を通して、話し手から離れて、相手の方へ移動する」という意味を持つ。この場合、方向補語の“过”、“过来”、“过去”は「空間を通る、超える」を表すという点では共通しているが、“过来”と“过去”にはそれ以外に、また話し手の方へ移動するか、話し手の方から離れて相手のほうへ移動するかという方向性も含まれている。この意味における“过来”と“过去”は方向の面では、正反対なものとなる。その方向性の違いは“来”と“去”の違いからなるものである。

中国語の“递过茶杯”は日本語では「湯飲みを手渡す」という表現になり、この“递过”は日本語では「手渡す」という表現になる。中国語の“递”は「手渡す」という意味を表すものとなる。中国語では、この場合、「手渡す」という動作の方向として、必ず“递+过”の形を取り、すなわち「動詞+方向補語」という形が必要である。この“递过”の学習は、日本人の中国語学習者にとっては比較的困難だと考えられる。なぜなら、日本人の中国語学習者にとっては、日本語の「動詞」から中国語の「動詞+方向補語」に変える必要があり、作業が複雑になるので、その作業が難しいと考えられる。

また、中国語の“把茶杯递过来了”は日本語では「湯飲みを手渡してくれた」という表現になり、この“递过来”は日本語では「手渡してくれる」という表現になる。日本語では、「手渡してくれる」は「手渡す+てくれる」という形である。「てくれる」は「自分のために、他人がその動作をし、それによって恩恵、利益を受ける意」を表す。「てくれる」が“过来”とイメージが違うので、この“过来”の学習は日本人の学習者にとって、難しいと考えられる。

中国語の“把茶杯递过去”は日本語では「湯飲みを手渡した」という表現になり、この“递过去”は日本語では「手渡す」という表現になる。これもうえで検討したように、日本人の中国語学習者にとっては、日本語の「動詞」から中国語の「動詞+方向補語」に変える必要があり、作業が複雑になるので、その作業が難しいと考えられる。

うえの例文で分かったように、日本語の「手渡す」という表現は、中国語では、場合によって、“递过”“递过来”“递过去”という3つの表現になる可能性がある。どの時に、どれになるか、その区別は日本人の学習者にとっては、難しいと考えられる。よって、この部分の学習は難しいと予測できる。

## 2.2 「動作によって方向を変える」という意味。

方向補語の“过”は方向的な意味を表す場合、「動作によって方向を変える」という意味もある。この意味において、“过来”は「動作が話し手の正面に向きを変える」という意味を表す。一方、方向補語の“过去”は「反対側に動作の向きを変える」という意味を表す。““过”、过来”、“过去”は「動作によって方向を変える」という点では共通しているが、“过”は「話し手の正面に」という方向及び「反対側に」という方向を表す。“过来”は「話し手の正面に」という方向を表し、“过去”は「反対側に」という方向を表す。たとえば、

例：他回过头看了我一眼。

日本語訳：彼は振り向いて私を見た。

例：他回过头来看看我。

日本語訳：彼は振り向いて私を見た。

例：他回过头去看了看外面的风景。

日本語訳：彼は振り向いて外の風景を見た。

上の例で分かったように、中国語の“回过头”も“回过头来”も“回过头去”も日本語では、「振り向く」という表現になる。中国語の“回头”は「振り向く」という動作を表し、「振り向く」という動作の方向を表すときに、方向補語の“过”“过来”“过去”が必要である。例文の中の“回过头”の“过”は、「話し手の正面に」という方向となるものである。“回过头来”の“过来”も「話し手の正面に」という方向となるものである。“回过头去”の“过去”は「話し手の反対側に」という方向となるものである。日本人の中国語学習者は、この部分を学習するときに、方向補語の“过”“过来”“过去”が持っている方向性を把握しないと、日本語の「振り向く」はどちらに対応するかが分からなくなる。よって、この部分の学習は比較的に困難であることが予測できる。

この意味において、学習者にとって、より難しい例文は以下の“翻来”“翻过来”“翻过去”というものになる。

例：翻过一页。

日本語訳：1ページをめぐった。

例：把地翻过来。

日本語訳：土をひっくり返して耕す。

例：翻过来翻过去也睡不着。

日本語訳：何度も寝返りをしたが、寝られない。

この場合、“翻过”は日本語では「ページをめぐる」という表現になり、“翻过来”は日本語では「ひっくり返して耕す」という表現になる。“翻过来翻过去”は日本語では「何度も寝返りする」という表現になる。日本語は動作だけで表現できるが、中国語は、「動詞＋方向補語」の



形になるので、学習者にとっては難しいと考えられる。そのうえ、どの場合は方向補語の“过”“过来”“过去”のどちらを使用するか、それを見極めるのは、非母語話者にとって、とても困難であると予想できる。まして、中国語の“翻”には、「メージをめぐる」「ひっくり返す」「寝返りする」などの意味がある。学習者は、“翻”が動詞としてどちらの意味になるかを把握するのも困難である。よって、この部分の学習は、学習者にとって、極めて困難であると予測できる。

### 2.3 「過ごす」という意味。

方向補語の“过”は結果的な意味を表す場合、「過ごす」という意味もある。この場合、“过”の後の言葉は困難な期間を表すものが多い。この意味において、“过来”は「困難な時期、難関を過ごす」という意味を表す。一方、この意味において、方向補語の“过去”は「過ごす」或いは「困難な時期、難関を過ごす」という意味を表す。

この部分において、方向補語“过来”と“过去”は、「過ごす」という意味では共通しているが、話している時間との関係が違う。劉月華（1998）によると、方向補語“过来”はすでに行われた動作の動詞の後に使用するという。一方、方向補語“过去”はすでに行われた行為の後に使用するだけでなく、まだ行われていない動作の動詞の後にも使用するという。方向補語の“过”も“すでに行われた行為の後にも使用でき、まだ行われていない動作の動詞の後にも使用できるという。たとえば、

例：你忍一忍，这段日子熬过就好了。

日本語訳：ちょっと我慢して。この時期を乗り越えるとよくなるから。

例：孩子终于长大了，你终于熬过来了。

日本語訳：子供はやっと大きくなった。あなたはよく頑張ったね。

例：再咬咬牙就熬过去了。

日本語訳：もうすこし踏ん張ったら、乗り越えられるよ。

この場合、“熬过”は日本語では「乗り越える」という表現になり、“熬过来”は日本語では「よく頑張った」という表現になる。“熬过去”は日本語では「乗り越えられる」という表現になる。中国語の“熬”は「(苦痛や困難に) 耐える」という意味を表すものである。この場合、“过”“过来”“过去”は「(困難な時期を過ごす)」という意味を表す。例文の中に、“熬过”はこれから耐える結果になるものであり、“熬过来”は今まで頑張ってきた結果になるものであり、“熬过去”はこれから耐える結果になるものである。日本人の学習者にとっては、文の中の動作はこれから行われるか、いままで行われたかを区別しないと“过”“过来”“过去”のどちらを使用するか分かんないと考えられる。また「乗り越える」「よく頑張った」「乗り越えられる」のように、文脈によって、日本語の表現も違ってくるので、その判断は学習者にとって非常に困難であると予測できる。

### 3. 方向補語の“过”、“过来”、“过去”の間に2つだけ意味的に対応している場合と方向補語の“过”だけが持っている意味の場合

本章では、方向補語“过”、“过来”、“过去”の間に2つだけ意味的に対応している部分について検討すると共に、日本語の関連表現と対照しながら日本人の中国語学習者による方向補語の“过”、“过来”、“过去”の学習問題点を探ってみる。また方向補語の“过”だけが持っている意味の部分もある。それも検討する。

#### 3.1 方向補語の“过”と“过去”が対応している部分であり、「まさっている」という意味。

例：这次比过他们了。

日本語訳：今回は彼らよりよかった。

例：咱们把他们比过去了。

日本語訳：私たちは彼らよりよかった。

この場合、“比过他们了”は日本語では「彼らよりよかった」という表現になり、“把他们比过去了”も日本語では「彼らよりよかった」という表現になる。中国語の“比”は「比べる」という意味を表すものとなり、方向補語の“过”は「(比べた結果) まさっている」という意味を表すものとなる。方向補語の“过去”も「(比べた結果) まさっている」という意味を表すものとなる。この“比过”が“比过去”と意味的にはほぼ同じであると言える。なぜ1番の例文に、“比过”を使用するかと言うと、簡単方向補語である“过”の後に、目的語が付きやすいからである。2番の例文は、“把”というものを使用して、目的語の“他们”を動詞の前にしたので、この場合、“比过”でも“比过去”でもどちらを使用してもおかしくない。動詞と目的語の関係は構文上の問題で、学習者にとってはすこし難しいかもしれないが、この部分の意味を理解するのは難しくないと考えられる。

#### 3.2 「本来の正常な状態を取り戻すか、失うか」という意味。

例：他醒过来了。

日本語訳：彼は意識を取り戻した。

例：把坏习惯改过来了。

日本語訳：悪い習慣を改めた。

例：她晕过去了。

日本語訳：彼女は気を失った。

例：背过气去了。

日本語訳：気絶した。

中国語の“醒过来”は日本語では「意識を取り戻す」という表現になり、“改过来”は日本語では「改める」という表現になる。中国語の“醒”は「(昏睡状態から) 意識を取り戻す」とい

う意味を表すものとなる。この“改”は「直す、改める」という意味を表すものとなる。“醒过来”の“过来”も“改过来”の“过来”も「本来の正常な状態を取り戻す」という結果的な意味を表す。

中国語の“晕过去”は日本語では「気を失う」という表現になり、“背过气去”は日本語では「気を失う」という表現になる。“晕过去”の“过去”も“改过来”の“过去”も「本来の正常な状態を失う」という結果的な意味を表す。

上の例から分かったように、この部分の“过来”と“过去”は意味的には正反対のものであるが、学習するときに、対照しながら勉強すると、理解しやすいと考えられる。日本人の中国語学習者にとっては、日本語の「動詞」から中国語の「動詞＋方向補語」に変える必要があり、作業が複雑になるので、その作業が難しいと考えられる。

3.3 方向補語の“过”だけが持っている意味の部分であり、「ある限度を超える」という意味を表す。

例：坐过站了。

日本語訳：乗りすぎた。

例：今天早上睡过了，迟到了。

日本語訳：今朝寝すぎたので、遅刻した。

中国語の“坐过站”の“过”と“睡过了”の“过”は「ある限度を超える」という意味を表す。中国語の“坐过站”は日本語では「乗りすぎた」という表現になり、中国語の“睡过了”は日本語では「寝すぎた」という表現になる。日本人の学習者にとって、中国語の“过”に対して、「すぎる」というイメージを持ちやすい。また、日本語の「動詞＋助動詞」から中国語の「動詞＋方向補語」に変更する場合、“坐过”は「乗りすぎる」と意味的にも形にも対応している。“睡过”は「寝すぎる」と意味的にも形にも対応している。ゆえに、この場合の“过”は、日本人の学習者にとって、学習が比較的簡単であると推測できる。

#### 4. まとめ

本研究では、先行研究を踏まえた上、方向補語の“过”、“过来”、“过去”の持っている意味を分類してみた。また日本語の関連表現と対照しながら、日本人の中国語学習者による方向補語の“过”、“过来”、“过去”の学習の難易度についても予測を立てた。それらの予測を検証するための研究が必要であるが、それを今後の研究課題とする。

#### 参考文献

- 呂 叔湘（主編） 牛島徳次・菱沼 透（監訳）（1992）《中国語文法用例辞典（現代漢語八百詞 増訂本）》 東方書店
- 劉 月華（1998）《趋向补语通释》 北京语言文化大学出版社

- 呂 曉軍(2007) 〈汉语趋向动词—“起来”的多义性认知研究〉 《中南民族大学学报》 V01.27
- 大橋 志華(2001) 「動補構造「動詞+“上”」に対応する日本語表現について」 『日中言語対照研究論集』 第3号
- 相原 茂(2010) 『講談社中日辞典第三版』
- 衫村博文 1983 「试论趋向补语“下”·“下来”·“下去”的引申用法」  
《语言教学与研究》1983年4期
- 徐静茜 1985 「也论“下”·“下来”·“下去”的引申用法」  
《汉语学习》1985年4期
- 馮 富栄 1999 『日本語学習における母語の影響 —中国人を対象として—』  
風間書房
- 荒川清秀 1998 「中国語の方向補語について」 『外語研紀要』10 P9~P23
- 喜多田久仁 1982 「方向補語「上」「上来」「上去」解説と其の用例」 P12~P63  
『方向補語「上」「上来」「上去」「下」「下来」「下去」解説と其の用例』(未公刊)
- 史锡尧 1993 「动词后“上”、“下”的语义和语用」  
《汉语学习》1993年第4期 延边大学《汉语学习》编辑部
- 邱 广君 1995 「谈“V上”所在句式中的“上”意义」  
《汉语学习》1995年第4期 延边大学《汉语学习》编辑部